

国語問題

(一月二六日実施)

一 次の文章を読んで後の問に答えよ。

病気は、個体にとっては大きなマイナス因子である。しかしAポピュレーションの調節という点で大きな役割を果たしているのならば、種の維持には必要欠くべからざる要素と言わねばならない。幼児期に、病気との闘いで破れた個体はどんどん死に、健康な個体のみが残って子孫を残していく。年若いaセイシヨクに参加できなくなると、また病気で死んでいく。人口調節と種の維持という観点からは、これは望ましい過程である。サル類における自然bトウタの回転の歯車は、病気によって運転されていると言つてよいだろう。病気がなければ、サル類は人口過剰のために、とつくに滅びの道をたどっていたかも知れないとさえ思える。

B 人類にとつても、生存をおびやかす最大のものは病気であった。そのために、寿命は短かった。先史時代や古代人の平均寿命についての推計では、アウストラロピテクスは十二歳ぐらいだったろうと言われている。

疫病と呼ばれる強力な伝染病が、人類社会をおびやかさせた例はCにいとまがない。その最大のものは、ペストであるが、十四世紀の初めに中央アジアからヨーロッパにc伝播し、ヨーロッパの人口を半減させる大惨事もたらしている。梅毒は一四九三年にコロンブスの一隊がアメリカから持って帰ってから、二五年後にはもう日本にまで伝播した。コレラはベンガルの風土病としてあったものが、一九世紀の初めに暴威をふるい始め、約二〇年間に世界中に拡がってしまった。このような悪性の伝染病は、先史時代の人類に何度も襲いかかったことであらう。

人類最大の敵の一つは病気であった。人類は病気の絶滅に全力をつくしてきた。そして二〇世紀の後半になって、先進国では、平均寿命が七〇歳を越える地点に到達した。病気との戦いにおいて、人類は一つの夢を実現させたかのように見える。しかしそのDとして、地球的な規模における人口Eという悪魔を創りだしてしまつたのである。その悪魔は人類全体の滅亡という大問題をひっさげて、悪魔の世界を見せつけ始めている。

この三〇年間に、地球上の人口は倍加するだろうと言われている。それだけの人口を支える資源は地球上にはない。F勢い、どこかで大量の死という現象が、常時生起することになる。現在でも年間約三〇〇万の人が餓死していると言われている。この数字は次第に加速度を増していき、人類の平和に大きな不安を与える震源地となることは自明のことである。

人口増加という問題は、サル類が巨大な森林を占領し、楽園の中で育ってきたことによつてd担つた根源的な運命である。他の哺乳類は、食う食われる関係の中で、文字通り血みどろの努力を続けながら、種のGの問題を解決してきた。ところがサル類は、食う食われる関係からeゼツエンされた楽園で、外敵からおびやかされることなく、いわば流血の悲劇のない方法で、自主的に人口の調整を解決しなければならないという運命的課題を課せられたのである。サル類はこの問題をある程度解決した。人類は、とんでもないHな調節の道歩んでしまつた。

Iそれは食うものと食われるものという関係を、自らの社会の中に持ちこんでしまったということである。戦争、乳幼児のまびき、老人を捨てるうば捨てなど、残虐な行為を創造することによる解決策である。戦争は、まびき行為とは同列の次元の出来事ではないが、一九四五年までの一二六年間に、少なく見積もっても、五九〇〇万人の人間がf殺戮されているという事実は、結果として人口調整の役割を果たしていることはJ。

(河合雅雄「森林がサルを生んだ」より)

問一 空白部B・C・D・Gに入る適切な語を次より選び、番号で答えよ。(解答番号は【1】〜【4】)

- 1 見返り 2 絶滅 3 見返し 4 近来 5 枚挙 6 古来 7 維持 8 大挙

問二 空白部E・H・Jに入る適切な語をそれぞれ選び、番号で答えよ。(解答番号は【5】〜【7】)

- E【5】 1 構成 2 過剰 3 移動 4 減少 5 調節

- H【6】 1 抽象的 2 主体的 3 現代的 4 先進的 5 恒久的

- J【7】 1 間違っている 2 例えようがない 3 言う価値がない

- 4 間違いない 5 問題ない

問三 傍線部a・b・eと同じ漢字を含むものを選択肢より選び、番号で答えよ。(解答番号は【8】〜【10】)

- a セイシヨク【8】 1 シヨクサン興業 2 日本人のシュシヨクは米だ

- 3 キヨシヨクに満ちた生涯 4 ある映画にシヨクハツされ、女優を目指す

- b トウタ【9】 1 人格をトウヤする 2 トウジ器の美しさ

- 3 廃棄物の不法トウキ 4 現実からのトウヒ

- e ゼツエン【10】 1 エンジュクの域に達する 2 独立運動をシエンする

- 3 地名のユエンを尋ねる 4 この事件はエンコンによる犯行だ

問四 傍線部c・d・fの漢字の読み方を次より選び、番号で答えよ。(解答番号は【11】〜【13】)

- c 伝播【11】 1 でんぱ 2 でんぱん 3 でんぱん 4 でんば

- d 担った【12】 1 おった 2 せおった 3 になつた 4 つちかつた

- f 殺戮【13】 1 さつぱつ 2 せつぱつ 3 せつしょう 4 さつりく

問五 波線部A・F・Iはどのような意味か。選んで番号で答えよ。(解答番号は【14】〜【16】)

- A ポピュレーション【14】 1 市民 2 人口 3 人間 4 寿命

- F 勢い【15】 1 盛んな元氣 2 他を圧倒する力

- 3 成り行き上必然的に 4 次第に、だんだん

I それは食うものと食われるものという関係を、自らの社会の中に持ちこんでしまったということである。【16】

- 1 他の哺乳類と同じように、人間は人間同士で残虐行為をするようになった

- 2 サル類は同じ種同士で殺し合うが、人間は人間同士で食ったり食われたりすることはない

- 3 人間は知性ある生きものとして、食う食われるの関係を、うまく制御できた
- 4 動物のように他の種との間で殺し合うのではなく、人間は人間同士で残虐行為をするようになった

【二】 次の作家・詩人・学者の著作をそれぞれ選び番号で答えよ。(解答番号は【17】～【24】)

- A 幸田露伴【17】 B 武者小路実篤【18】 C 中野重治【19】 D 井上ひさし【20】
- E 柳田国男【21】 F 村上春樹【22】 G 谷川俊太郎【23】 H 谷崎潤一郎【24】

【作品名】

- 1 むらぎも 2 吉里吉里人 3 海辺のカフカ 4 五重塔
- 5 真理先生 6 刺青 7 遠野物語 8 二十億光年の孤独

【三】 次の詩を読んで後の問に答えよ。(解答番号は【25】～【28】)

秋になった

いつとなしに秋になった

朝夕はAもうしろい障子の親しまれる頃となった

そして蚊帳をつらないでもよい頃となった

二三日の中にBそれはしまわれるであろう

あの青いすこし暗いような色

それから赤い布のへり

たたむ時つり手の金具の触れ合うすずしい音

草臥(くたび)れてねる白い床の上を

流れる 青いこまかい影の快さ

山の斜面(スロープ)のような快さ

真夜中に目ざめると

髭ひげを剃そりたての月が

青い波の上を静かにわたっている(後半省略)

(田中冬二の第一詩集『青い夜道』より)

問一 傍線部Aはどのような意味か、選んで番号で答えよ。(解答番号は【25】)

- 1 夏の暑さと障子の白さが対照的で、親しみを感じる
- 2 今までしまわれていた障子をもとの位置に戻す季節になった
- 3 夏のあいだ汚れてしまった障子を新しく張り替えたくなくなった
- 4 秋の涼しさにより、障子の白さがきわだつようになった

問二 傍線部B「それ」は何を指しているか、選んで番号で答えよ。(解答番号は【26】)

- 1 蚊帳 2 夏 3 涼しさ 4 障子

問三 この詩のリズムはどこから生まれてくるのか、選んで番号で答えよ。(解答番号は【27】)

- 1 色を表す形容詞と、動詞の終止形の多用
2 五七調や七五調など、日本古来からのリズムの多用
3 連用形止めの多用による、連綿としたつながり
4 同じ語句の繰り返しや、体言止めの多用

問四 この詩のテーマは何か、選んで番号で答えよ。(解答番号は【28】)

- 1 蚊帳に対する愛着や郷愁と、去りゆく夏へのかすかな哀愁
2 夏の暑さから解放された喜びと、涼しい秋への期待
3 秋になって、一段と輝きを増した月のはつとするような美しさ
4 夏の、暑いながらも楽しかった生活の思い出

【四】 次のA～Gの類義語として、()に入るべき漢字を選んで番号で答えよ。(解答番号は【29】～【35】)

- A 沿革 || 変 () 【29】 B 外聞 || 体 () 【30】 C 激励 || () 舞 【31】
D 疎外 || 排 () 【32】 E 歴然 || () 著 【33】 F 順序 || () 第 【34】
G 興廃 || 盛 () 【35】

- 1 斤 2 遷 3 載 4 衰 5 鼓 6 裁 7 次 8 顕

【五】 次の漢字の読みについて正しいものを選び、番号で答えよ。(解答番号は【36】～【44】)

- A 嫁する 【36】 1 いえする 2 かする 3 けする 4 よめする 5 じよする
B 統べる 【37】 1 とべる 2 とうべる 3 すべる 4 くべる 5 おしなべる
C 和む 【38】 1 かこむ 2 ゆがむ 3 なぐさむ 4 そねむ 5 なこむ
D 辱める 【39】 1 なめる 2 あやめる 3 いじめる 4 はずかしめる 5 ほめる
E 矯める 【40】 1 ためる 2 ゆがめる 3 つめる 4 しめる 5 さめる
F 窮まる 【41】 1 あまる 2 せまる 3 しまる 4 きまる 5 きわまる
G 賄う 【42】 1 くらう 2 まかなう 3 あがなう 4 くわう 5 よそおう
H 凌ぐ 【43】 1 しのぐ 2 ふせぐ 3 りようぐ 4 あえぐ 5 あおぐ
I 滴る 【44】 1 たまる 2 したたる 3 こぼれる 4 あふれる 5 かなえる

六

次の慣用語の空欄①～⑧にはふさわしい語句を、a～hには該当する意味を選び、それぞれ番号で答えよ。

(解答番号は【45】～【60】)

A	うそも	①	【45】	a	【46】
B	②の白袴	②	【47】	b	【48】
C	③膏盲 <small>こうめい</small> に入る	③	【49】	c	【50】
D	④をかむ	④	【51】	d	【52】
E	亀の甲より年の⑤	⑤	【53】	e	【54】
F	⑥に膾炙 <small>かいしや</small> する	⑥	【55】	f	【56】
G	洞 <small>ほら</small> が⑦を決め込む	⑦	【57】	g	【58】
H	⑧身につかず	⑧	【59】	h	【60】

【語句】 1 人口 2 紺屋 3 病 4 ほぞ 5 劫こう 6 悪銭

7 花 8 方便 9 峠

【意味】

- | | |
|------------------------------|--------------------|
| 1 人々の評判となって広く知れ渡る | 2 有利な方につこうと形勢をうかがう |
| 3 不正に得た金は、無駄に使われてすぐなくなる | 4 長年の経験が貴重 |
| 5 時には嘘も必要だ | 6 後悔する |
| 7 人のことばかりに忙しく、自分のことをしている暇がない | |
| 8 思い通りになったことに満足して、一人ひそかに笑う | |
| 9 あることに熱中してやめられなくなる | |